

釧路

ママパパ

Mama・Papa

図鑑

今回のママ

あなざわかな
釧路市 穴澤可奈さん（28歳）

私のこと

十勝管内清水町出身、看護学校入学を機に釧路市へ。現在は市内の病院で看護師をしています。家族は夫、3歳の息子の3人家族。仕事の他に、地域のボランティア活動にも参加し、多世代の女性達との交流で元気をいただいている♪

共働きと子育て

私の仕事が終わるのが不規則なこともあります。パパがとても積極的に育児や家事をしてくれています。掃除、洗濯、大人のご飯と子どものご飯の用意、ゴミ出し、買い物…言わずとも何でも出来ます！パパ曰く「親が育児をするのは当たり前だから、『イクメン』という言葉は嫌いなんだ」とのことです（笑）

20代で乳がんに…

息子の授乳中、乳腺炎になって母乳育児相談室へ。そこで助産師さんに乳腺炎とは別の胸のしこりを指摘され、後日外科にかかったのが始まりです。検査結果は乳腺症で良性の腫瘍。経過観察も必要なしだったので検診などは受けていませんでしたが、1年後良性のしこりの真下に悪性の腫瘍が出来ていました。自分で触診する癖がついていたので、しこりが大きくなったらすぐに気づけたのだと思います。私は癌家系ではなく、乳がんのリスクになるようなものにも何一つ当てはまりませんでした。遺伝の検査も陰性。癌の検査をした時の傷を2歳半になった息子が見て「おっぱいいたいの？なでなでしてあげるね」と傷を撫でてくれた時は「なんで私が？」と負の感情ばかりが湧いていました。現在は治療が続いているためセーブさせてもらいながら働いています。家族で過ごす時間が増え、子どもの成長を傍で感じることができ、癌になったことは今までの働き方や生活を振り返るきっかけになった大きな出来事だったなと感じています。具合が悪くて動けない時や私の入院中はパパが家事・育児を全て1人でやってくれていました。息子もあまり寂がらずに待ってくれていて、2人にはとても感謝しています。



▲わが家のお気に入りアソビバ！
くしろ水族館ぶくぶく



釧路で子育て中のママパパにスポットを当てご紹介するコーナー。今回は、十勝出身の看護師ママ！20代で乳がんに罹患し現在は治療を続けながらも子育てと仕事を頑張る1児のママさんをご紹介します♪



子育てママへ…

乳がんは女性の癌の中で1番罹患数が多い病気で、9人に1人が罹患すると言われています。また出産年齢が高齢化していることから、妊娠・授乳中に罹患する方も増えているようです。育児や家事・仕事等でなかなか自分の健康についてまで手が回らない…という方が多いとは思いますが、授乳中や入浴中などふとした時にもしこりがないかセルフチェックして早期発見につなげて頂けたらと思います。



▲年間パスポートを購入しているので、よく行きます♪



▶息子は
お魚大好き！